

泊村老人ホームむつみ荘広報

# アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3  
社会福祉法人 黒松内つくし園  
泊村老人ホーム むつみ荘  
TEL (0135) 65-2255発行責任者 施設長 高橋 英俊  
編集発行 むつみ荘広報委員会

## 年頭のご挨拶

泊村老人ホームむつみ荘  
施設長 高橋 英俊

新年あけましておめでとうございます。2022年の始まりにあたり、利用者様並びにご家族・各関係機関・地域の皆様にご挨拶申し上げます。去る2021年は、2020年の1月から世界中で猛威を振っている「新型コロナウイルス感染症」が春頃から「デルタ株」、直近では「オミクロン株」など、強力な感染力を持つ変異ウイルスによる感染が拡大し、大規模クラスターが数多く派生する等、数度にわたり緊急事態宣言が発生させられる事態となりました。このことにより、医療体制の逼迫・経済活動の停滞、さらには、東京オリンピック等各種イベントが無観客開催になる等、人流の制限により、私たちの生活様式を根本から見直さざるを得ない状況に陥ることとなりました。

しかしながら、一方では、感染予防対策に関する意識の定着が進んだこと、また、昨年2月からは感染予防の切り札ともいえるワクチン接種が始まり、これまでに国民の約70%、1億人の方が接種したこと等により、昨秋以降、新規感染者数が減少するとともに医療体制の回復が顕著となりました。これらのことから、昨年11月には緊急事態宣言が解除されるとともに、北海道における「警戒ステージ」も約1年ぶりに「1」に下げられ、徐々にではありますが様々な制限が緩和され、社会・経済活動が回復しつつある状況となりました。本施設におきましても、昨年1年間を通じて、従前から実施しております「手指消毒」・「ソーシャルディスタンスの確保」・「マスクの着用」・「検温等健康管理」等、感染予防対策を徹底しながら、「ワクチンの接種」につきましても、昨年5月から8月までの間に希望する利用者様・職員に接種を実施した結果、本施設におきましては、今日まで感染患者の発生がない状態が続いております。これも一重に、ご家族・関係者の皆様のご理解並びにご協力の賜物であり、改めまして深く感謝申し上げます。



## ★面会等についてのお願い★

試験的緩和として、一部面会の解除をさせて頂いておりましたが、御家族・利用者共にコロナワクチン接種済みの方に限り、面会人数・回数の制限及び、緊急時を除く利用者の外出・外泊の禁止を継続させていただきますことと

なりました。緩和の期間については、新型コロナウイルス以外の感染症も流行する季節という事も鑑みて、今後の発生状況等を見極め、随時検討を行う事としました。ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

さて、新年2022年ではありますが、本施設におきましては、引き続き、利用者様の健康保持の観点から、黒松内つくし園法人本部や泊村役場・岩内保健所等、関係機関の方々と密に連携を取りながら、「新型コロナウイルス感染症」を始めとする各種感染症に関する知識・最新情報を共有し、感染予防対策に努めることとしております。また、このまま感染状態の減少傾向が継続した場合には、一昨年・昨年と2年間実施できなかった「むつみ荘夏祭り」や「敬老会」などの各種施設行事の開催やこれまでご家族等の皆様には多大なご不自由とご心労をおかけしております、利用者様との「面会・外出・外泊」について、さらなる制限緩和を図るなど、出来る限り早急にコロナ以前の状況に戻すべく、鋭意努力して参りたいと考えております。改めまして、昨年中は、ご家族並びに地域の皆様等には、ご心配やご不自由をおかけいたしました。心中お察しいたしますとともに、皆様からの格別なご理解やご協力をいただき、これまで、感染者が発生することなく、無事に乗り切ることが出来ましたことにつきまして重ねてお礼申し上げます。



終わりになりますが、本年におきましても、利用者様が本施設での生活をいつまでも快適かつ安心して過ごすことができますよう、職員一同、日々、ケア技術の向上に努めますとともに、日々変化する利用者様の状態像に応じた良質なサービスの提供ができますよう、専心していく所存でございますので、ご家族並びに関係者の皆様におかれましては、お身体をご自愛されますとともに、引き続き、本施設の円滑な運営につきまして、ご支援いただきますよう、お願い申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。





# 養護被服購入

12月22日毎年恒例行事となっている、養護被服購入が行われました。今年は、岩内町の馬場呉服店様と、蘭越町の坪田呉服店様にご協力いただき、密にならないよう、少人数ずつのグループに分け、1回約15分間という制限を設けた中での開催となりました。利用者は、お店の方や職員と相談しながらお目当ての衣類を選ん

でいました。施設内で衣類等が購入できる年末のビックイベントに、今年初めて参加される方も、そうでない方もとても嬉しそうに買い物されていました。早速次の日に「これ！昨日買ったやつ着てみたよ」と利用者同士嬉しそうに見せ合う姿があり無事開催出来て良かったなと思いました。



クリスマス行事が各ユニットで行われました。にこやか・ほんわかユニットでは昼食をバイキング形式にし、利用者からは「自分の好きなものをたくさん食べることができてよかった」や「自分で選べて楽しかったよ」との声が聞かれました。食後は、宝引きをして、サンタさんの格好をした職員がプレゼントを配ったり、黒ヒゲ危機一髪のゲームやカラオケで盛り上がりま

すだね」と皆さん喜ばれておりました。各ユニットそれぞれ出前を取ったり、職員が作った料理を食べたり、プレゼント交換をしたりと楽しまれていました。養護ゆらりユニットのクリスマスイベントには、泊中学校文化部による「ハンドベル演奏会」がZOOM配信で行われました。綺麗な音色に「クリスマスらしくていいね」と皆さん喜ばれていました。泊中学校文化部の皆さんありがとうございました。



## 自然災害想定した避難訓練・内部研修

12月7日今年度1回目となる避難訓練を実施しました。今回初めて「震度6強の地震が発生」との想定で訓練を行いました。災害が起きた際の利用者の避難誘導や、ライフラインの確認等をし、被害状況を施設長へ報告するまでの一連の流れを確認しま

した。課題が山積みだという事を痛感した訓練となりました。12月16日には、リスクマネジメント委員会主催の自然災害をテーマとした内部研修を行いました。高橋施設長が講師となり、事業継続計画(BCP)やハザードマップを中心に、災害が起こった際の対応や注意点、災害対応業務や避難の方法について「前もって心構えをしておくことが重

要」とのお話がありました。参加した職員からは「災害発生時の自分の役割について理解する事ができた。日頃から準備をしておきたい。」「自分の住んでいる地域のハザードマップを見たことがなかったが、災害が起こる前に確認しておく必要があると思った。」など、職員それぞれが防災への意識を

高めることが出来ました。むつみ荘は、災害時に要支援者の受け入れを行う福祉避難所となっているため、より迅速な対応ができるよう、今後も研修や訓練を定期的に行い職員意識を高めていきたいと思います。

